

# 手賀沼 水際線エリアのハス生育状況調査

美しい手賀沼を愛する市民の連合会 顧問 小倉 久子

今年度、美しい手賀沼を愛する市民の連合会で手賀沼の水を使ってハスの栽培実験を行なった際に、合わせて実験地周辺の水際エリアから元ハス群落のあった沼岸でハスの生育状況調査を行いました。

## 水際線エリア 調査ポイント



## 調査日

5月17日、5月25日、6月1日、6月8日、6月15日、6月21日(船上調査含む)、6月29日

### ① 蓮見棧橋の内側



### ② 岸寄りの湿地



### ③ 棧橋西側のヨシ群落



### ④ 木道沿いの湿地



### 沼の中に残存しているハス(船上から調査) ①・②



- 手賀沼の大きなハス群落は、2018～2019年に急速に消滅してしまったが、2021年現在で水際線にはわずかに生存が確認された。
- 生存していたのは、沼の水が直接当たらないところであり、他の抽水植物(ヨシ、ヒメガマなど)の株の間や、開水面に張り出すナガエツルノゲイトウの群落に守られているような、奥まったところに確認された。
- 沼の水に直接接するような場所には、生存は確認できなかった。